

福井大学基金（羽ばたけ基金[®]） ニュースレター

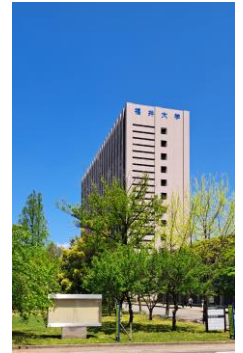
Vol.22
2024.5.13

大学の近況



学長 上田 孝典

新緑の候 皆様には益々お元気でお過ごしのことと存じます。
4月6日の入学式は、桜も満開となり、彩りを添えてくれて、嬉しく思っております。
今年は、5年ぶりに制約のない入学式を執り行うこととなり、新入生約1,330名が新たなスタートを切ることとなりました。北陸新幹線の金沢～敦賀間開業も伴い、保護者の方をはじめ、多くの方にご出席頂けたことを非常に嬉しく感じております。



文京キャンパス内の木々も青々とした葉が、青空のもと輝いています。

生活環境がコロナ以前に戻り、賑わいを取り戻す反面、今年元旦に発生した令和6年能登半島地震では、本学学生においても実家の被災等、被害を受けました。被災された方々の一日も早い復興を願うとともに、被災した学生に対し、本基金を使った経済的支援を継続できておりますことをご報告いたしますとともに、改めて感謝申し上げます。

また、昨年度は、特に工学部創立100周年記念事業募金や学生の交流スペース整備のために、多数の方より多額のご寄附を頂き、厚く御礼申し上げます。また、令和5年度は、ふるさと納税でのご寄附が1,630件3,684万円と過去最高となりました。多くの皆さまのご熱意を有り難く受け止めさせて頂いております。

皆さまから頂いたご寄附は、学生の修学環境の整備や生活支援等に使用させていただきます。引き続きのご支援をお願いいたします。

福井大学基金（羽ばたけ基金）の状況

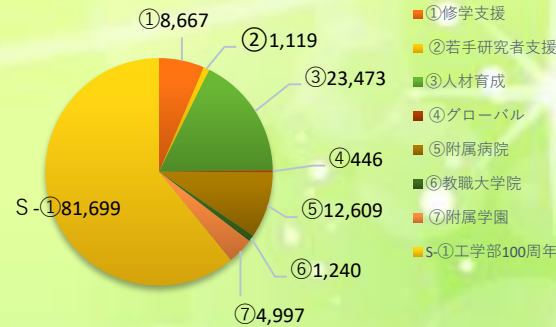
お陰様で福井大学基金への寄附総額は、7億5,800万円、ふるさと納税のご寄附と合わせて8億9,851万円となりました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

【これまでの寄附受入推移】

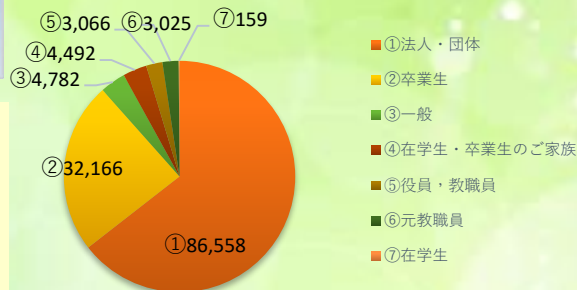


【令和5年度福井大学基金受入れ状況】

【事業別 (単位:千円)】



【寄附者別 (単位:千円)】



● 寄附実績 (令和5年度)

寄附件数 1,148件 寄附額 1億3,425万円

● 令和5年ふるさと納税

「県内大学の魅力向上応援」

寄附件数 1,630件 寄附額 3,684万円

～ 皆様からのご支援、誠にありがとうございます ～

活用実績

令和5年度に、以下の26の支援事業で2億8,300万円を活用させていただきました。

(単位：千円)

| 基金事業 | 活用項目 | 件数 | 令和5年度 活用額 | 基金事業 | 活用項目 | 件数 | 令和5年度 活用額 | |
|------------------|--|---|--------------|-----------------|------------------------------|---|--------------|---------|
| 学生修学 支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・予約型奨学金 ・学生修学支援奨学金 ・短期海外研修プログラムの参加学生への支援 ・自然災害被災学生への支援 ・生理用品支給 | 24 | 3,959 | グローバル化・地域振興支援事業 | ・短期海外研修プログラムの引率教員への支援 | 4 | 597 | |
| | | | | 附属病院の応援 | ・附属病院環境整備 | — | 662 | |
| 卓越高度専門職業人育成・研究支援 | 全学 | 6 | 4,300 | 教職大学院の応援 | ・連合教職開発研究科奨学金 | 3 | 601 | |
| | | | | 教育学部 | ・本学教育学部卒業の連合教職開発研究科入学優秀学生の支援 | 3 | 564 | 附属学園の応援 |
| | 医学部 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部及び大学院医学系研究科海外留学奨励金 ・福井大学医学部基金学生支援奨学金 ・臨床・臨地実習学生への緊急学生修学支援給付型奨学金 ・医学部における教育・研究助成 ・泌尿器科学の研究助成 | 14 | 4,554 | 工学部創立100周年記念事業及び工学系の教育・研究の応援 | <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業事務経費 ・記念施設新築経費 | — | 249,280 |
| | 工学部 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科博士後期課程私費外国人留学生修学支援奨学金 ・工学系学生の教育・研究支援 | 8 | 5,395 | ふるさと納税 (県内大学魅力応援) | <ul style="list-style-type: none"> ・若手研究者の研究費支援 ・学生交流スペース環境整備 ・共同研究推進のための若手教員人件費 | 7 | 12,467 |
| 合 計 | | | | | | 69 | 282,917 | |

主な活用成果 & 感謝の言葉

能登半島地震における被災学生への支援

今年元旦に発生した令和6年能登半島地震では、本学学生においても実家の被災等、被害を受けました。本学では、「福井大学自然災害学生への修学支援金」制度を利用し支援を続けています。(令和5年度末支援者数8名)

皆様のおかげで学業に励むことができます。大学生活での経験、学びを生かして将来看護師として社会に貢献することが、支援して下さった皆様への恩返しだと思い頑張りたいと思います。支援して下さいの皆様、本当にありがとうございます。(医学部看護学科生)

能登半島地震によって実家が全壊し、両親からの仕送りが困難になりました。生活費はアルバイトで賄えますが、学費等の支払いが負担になっていたため、大学寄附の奨学金を頂けて助かりました。寄附金での支援本当にありがとうございます。(工学部建築都市環境工学科生)

地震発生当時は能登の実家に帰省しており、以前と同じような生活が出来なくなりました。実家の様々な部分が破損し、修理には莫大な資金が掛かります。本当にありがとうございます。(工学部応用物理学科生)

震災により両親が職を失ってしまい、経済的に厳しい中、貯金を切り崩して生活費を出してもらっていました。そんな中、今回の支援金をいただき、私や家族の生活の助けになりました。この場を借りて感謝を申し上げます。今度は支援する側に回れたらと思います。(工学部機械・システム工学科生)

この度はありがとうございます。私は令和6年に発生した能登半島の地震により被災し、経済的にも大きな被害を受けました。今回寄附して頂いたお金は今後の学業のために使用させていただきます。(工学研究科 博士前期課程生)

この度は、支援金を提供していただきまして誠にありがとうございました。令和6年能登半島地震において、私の実家周辺は大きな被害に遭い、家屋の修理等に伴う経済的な負担により、両親から援助を受けることが困難な状況でした。そのような中、貴基金から援助をいただけることになり、金銭的な不安やストレスが軽減され、修士論文研究に集中することができました。来年度からは社会人として社会に貢献できるように、また支援をいただきました皆様方のように「温かい心」を持った大人になれるように精進いたします。(工学研究科博士前期課程生)



予約型奨学金 & 学生修学支援奨学金

福井大学への進学を強く希望する成績優秀者で、経済的支援が必要な学生1名に奨学金30万円を支給しました。また、授業料全額免除有資格者で、国の予算の都合上、半額免除となっている学生4名に一人あたり10万円を支援しました。

この度は奨学金をありがとうございます。大学生活にかかるお金は尋常ではありません。私は在学中に親からの支援が無い場合に、政府から受けることができる給付型奨学金の拡充について卒業論文を書きました。今回のような奨学金がなければ、アルバイト代で学費を賄う他ありませんでした。私が寄附できる立場になった時には、恩返ししていきます。(教育学部生)

私は奨学金のおかげで、学業に集中することができ、学費や生活費の負担を軽減することができました。医学の知識や技術をより深く学び、将来的に患者さんのために役立つ医療者として成長できるよう、努力と責任をもって取り組んでいきます。心からの感謝の意を込めて、再度深くお礼申し上げます。

(医学部医学科生)

この度は、奨学金を給付いただき誠にありがとうございました。10万という金額はとて大きく、自分のための時間をもっと多く取れるようになりました。物価高や高額な学費は私の悩みの種であるため、少しでもこの負担が軽減され、とてもありがたいです。この貴重な資金を自分の成長のために使用できるよう頑張ります。

(国際地域学部生)

短期海外研修プログラム参加学生への支援

私は、留学時に博士前期課程1年だったこともあり、授業、研究、就活等により満足にアルバイトができませんでした。しかし、皆様からのご支援により経済的な制限なく、存分に学び、充実した留学生活を送ることができました。今後は学生生活を通じて培った力を活かし社会貢献し今度は自らが次世代の学生を支援していきたいと考えています。

(工学研究科博士前期課程生)



物価高騰に伴う女子学生への支援 (生理用品の支給)

コロナ禍時よりご支援頂いておりました女子学生への生理用品の支給については、令和5年度以降も、昨今の物価高騰に伴う支援として、継続頂いております。

【学生からの感謝の言葉】

- ・アルバイトもしていますが、家が経済的に苦しいので、配布はすごく助かっています。
- ・買うと高いので助かっています。
- ・毎月もらえるので助かっています。

工学研究科博士後期課程私費外国人留学生修学支援

今回いただいた奨学金は私にとって大きな支えとなっています。これからも研鑽を積み、社会に貢献していきたいと思えます。改めて感謝申し上げます。

(工学研究科博士後期課程1年 TSAI YU CHEN)

連合協教職開発研究科入学生への支援

大学院進学を悩んでいましたが、奨学金があると聞き、前向きに考えることができました。皆様の温かいご支援のおかげで、安心して学業や研究に励むことができます。

(連合教職開発研究科1年生)

若手研究者支援

防災笛infinityを活用した授業実践研究に向けて

この度は、私の授業実践研究に際し、ふるさと納税による多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は、家庭科における防災教育について研究をしており、その一環として、企業とともに防災笛infinityを開発しました。ふるさと納税によるご寄附により、児童の人数分を用意し、2024年度にinfinityを教材とした家庭科の授業実践研究を開始できることになりました。



教育・社会系部人文門教員養成領域 末川和代講師



工学部創立100周年記念施設における地中熱空調システムのデジタルサイネージシステムの構築

この度は、ふるさと納税による研究支援をいただき、心より感謝を申し上げます。本支援により工学部創立100周年記念施設に導入される地中熱空調システムの運転状況をモニタリングおよび周知するためのサイネージディスプレイ等を準備することができました。



カーボンニュートラル推進本部 鈴木暹介特命助教



学生修学環境等整備

敦賀キャンパス学生用図書整備への支援

これまで、敦賀キャンパスには学生が学習に必要なとする図書の整備がなされておらず、敦賀キャンパスに在席する学生は、総合図書館(文京キャンパス)及び医学図書館から取り寄せているという状況でした。

日々の自主学習環境向上のため、自キャンパスですぐに利用できる敦賀キャンパス学生用図書の整備を行いました。



敦賀キャンパス内に整備された図書の様子

学生交流スペース整備への支援

文京キャンパス内においては、学生が集い自由に活動できる場所が非常に少なく、学生たちの自発的な活動が制限されているという課題がありました。その解決に向け、学生交流スペースの整備に取り組んでおります。令和5年度は、環境整備(樹木伐採および環境整備等)を重点的に行いました。

学内協議を重ねた上で樹木伐採を決定し、学生の学外交流スペースとしました。



◆工学部100周年記念事業について



(記念式典の様子)



(8月竣工予定の100周年記念館完成イメージ)

◆今後の記念事業予定◆

- 記念大会
令和6年7月20日
フェニックス・プラザ
- 100周年記念館竣工 (8月)
- 記念CDの発送 (秋以降)

令和5年12月9日に、100周年記念事業の一環で改修した工学部2号館223L講義室において、多くの関係者にお集まりいただき、記念式典を挙行了いたしました。皆様からの多大なるご支援に心より感謝申し上げます。

本事業については、現在も継続進行中で、8月には100周年記念館を竣工予定です。

工学部では、創立100周年のこの機会を一層の飛躍のときととらえ、工学部で学ぶ学生の教育研究支援を図り、国際社会で活躍できる人材の育成に精進してまいります。引き続きのご支援を何卒よろしくお願いいたします。



学生交流スペース整備事業
「学生交流のための屋根のある広場」
5,000万円を目標に寄附募集中です！

お陰様で、今年度から建築工事に着工します。学生が充実したキャンパスライフを送ることが出来ますよう、引き続き、皆様のご支援をお願いします。

顕彰制度

称号の贈呈・ご芳名の掲載

福井大学基金他へのご寄附の総額が一定額以上となった皆様を、称号贈呈式・感謝の集いにお招きし、「特別荣誉学賓」「荣誉学賓」「特別荣誉学友」「荣誉学友」の称号や感謝状をお贈りしており、これまでの贈呈実績は、39個人、74法人・団体となっています。

また、ご芳名をご芳名版に刻み、末永く顕彰させていただきます。



(学賓記)



(学友記)



(ご芳名版)

令和6年度からの基金の新規活用事業

皆様からのご寄附を更に有効に活用させていただくため、新たに次の支援事業を開始いたします。

○卓越学生に対する優秀学生奨励賞の授与

福大ビジョン2040に掲げる「卓越高度専門職業人の育成」の推進を目的として、学業において特に優秀な成績を収めた学生に対し、「優秀学生奨励賞」を授与します。

○学位取得を目的とする私費外国人留学生に対する奨学金の支給

優秀な外国人留学生の獲得に向けて、奨学金制度の拡充をはかります。

○経済的な理由により修学が困難な学生が留学する際の渡航支援金の支給

急激な円安などに伴い、留学が困難となった経済的困窮学生に対し、渡航時の支援を行います。

新たな学生支援に向けて、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



お問い合わせ先

福井大学基金事務局 電話 0776-27-9903
E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

福井大学基金の詳細はホームページをご覧ください。
インターネットでのご寄附はこちらからどうぞ。

